

関門エリア（門司港レトロ地区）夜間景観魅力向上事業の進捗について

1 目的

- (1) 新たな観光資源の掘り起こしやにぎわいづくりを進める。
- (2) 観光客の滞在時間の長時間化や宿泊客の増加を図る。
- (3) 将来的には、関門エリア全体の夜間景観の向上を図り、世界に誇れる門司港地区を形成する。

〔 本事業は国の地方創生推進交付金を活用した「かんもん海峡都市」観光まちびらき・形成連携事業の一環として行っている。 〕

2 進捗状況等

(1) 平成28年度「夜間景観計画を策定」

○対象範囲

「関門海峡ミュージアムからノーフォーク広場までの海岸線を中心とした範囲」

○基本方針

- ① 第1船溜まり周辺を強化することにより、新たなにぎわいを創り、夜間集客力の向上を図る。
- ② 門司港レトロに点在するシンボリックな建築物をライトアップすることで観光散策ルートを拡大し、まちなかへの回遊性を高め、滞在時間の長時間化を図る。
- ③ 対岸の下関市から見た夜間景観を強化することにより、関門エリアの魅力向上を図る。
- ④ ライトアップの光源は、門司港レトロの街並みに沿うよう、温かみのある色で統一する。

(2) 平成29年度の進捗状況「ライトアップ設置工事の基本・実施設計」

上記の基本方針を踏まえ、基本・実施設計を進めている。

【ライトアップ設置の方向性（別紙参照）】

○第1段階：第1船溜まり周辺の強化を図る。（新たなにぎわいの創出）

対象：旧門司三井倶楽部、門司港駅舎、マリンゲートもじなど

○その後：水平方向へ展開を図る。（観光散策ルートの拡大、海岸線の強化）

対象：関門海峡ミュージアム、門司区役所、三宜楼など


(3) 平成30年度以降「ライトアップ設置工事」

平成30年度から平成32年度の3ヵ年で、段階的にライトアップの設置工事を進める予定。

関門エリア（門司港レトロ地区）夜間景観魅力向上事業

別紙

【ライトアップ設置の方向性】

- ◆ 第1段階：第1船溜まり周辺の強化 
- ◆ その後：水平方向へ展開 